記者発表資料
平成２９年３月３０日（木）
市民生活部廃棄物対策課（し尿処理係）
担当：川村（内線３０７）

し尿処理施設の処理量変更に伴う生活環境影響調査結果を縦覧します

－　縦覧後に市民の皆様からのご意見を募集します　－

■　気仙沼市し尿処理施設の処理量は，１日当たり 110 キロリットルで宮城県の許可を受けていますが，災害公営住宅や防災集団移転により浄化槽利用の住宅が増加していることや，今後，応急仮設住宅撤去時の合併浄化槽清掃により，浄化槽汚泥量の増加が見込まれることから，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規定に基づき，１日当たりの処理量を 130 キロリットルに変更する手続きを行います。

■　県への変更申請に先立ち，予め処理量変更に伴う生活環境影響調査を行い，その結果を縦覧する必要があることから，「気仙沼市一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続きに関する条例」に基づき実施します。

■　縦覧期間終了後，処理量の変更に関し利害関係を有する方は，生活環境保全の見地から意見書の提出ができます。

【縦覧の日時】

１　期　　間　平成 29 年４月３日（月）～５月２日（火）
２　時　　間　午前８時 30 分～午後５時 15 分（土・日曜日及び祝日を除く。）
３　場　　所　市民生活部廃棄物対策課（気仙沼市クリーン・ヒル・センター内）
※縦覧申込書に必要事項の記入をお願いします。

【意見書の提出】

１　受付期間　５月３日（水）～５月 16 日（火）
２　受付時間　午前８時 30 分から午後５時 15 分まで（土・日曜日及び祝日を除く。）
３　提出方法　市役所本庁舎（玄関受付カウンター）及び気仙沼市クリーン・ヒル・センターに備え付けの用紙に記入し，持参，郵送またはファクシミリで提出願います。

【問合せ・提出先】

気仙沼市市民生活部廃棄物対策課（気仙沼市クリーン・ヒル・センター内）
〒988-0064　気仙沼市九条 93 番地１　TEL：22-9680／FAX：24-8110

【　参　考　】

1　変更の内容

施設の構造及び設置機器の種類・数量は現状のままで，処理量を 110kℓ/日から 130kℓ/日に増量するものです。

対応方法は，脱水設備 24 時間稼働の中で，脱水時間を延長し，延長により発生する脱水処理液の増加分は，希釈放流時間を延長して対応します。

	項目	現状（許可処理量）	変更後	最大
処理施設	処理量	110kℓ/日 (し尿 69kℓ/日,浄化槽汚泥 41kℓ/日)	130kℓ/日 (し尿 69kℓ/日,浄化槽汚泥 61kℓ/日)	135kℓ/日 (し尿 69kℓ/日,浄化槽汚泥 66kℓ/日)
	処理対象人口	し　尿：34,696 人 浄化槽：24,596 人	し　尿：34,696 人 浄化槽：40,131 人	し　尿：34,696 人 浄化槽：43,421 人
稼働内容	稼働時間	※脱水設備 7 日/週 18 時間/日(脱水) 希釈放流 7 日/週 20 時間/日 脱臭設備 7 日/週 24 時間/日	※脱水設備 7 日/週 22 時間/日(脱水) 希釈放流 7 日/週 23 時間/日 脱臭設備 7 日/週 24 時間/日	※脱水設備 7 日/週 23 時間/日(脱水) 希釈放流 7 日/週 24 時間/日 脱臭設備 7 日/週 24 時間/日
	※脱水設備	稼働：24 時間/日 脱水：18 時間/日，機器自動洗浄：6 時間/日 (1 サイクル：脱水 90 分，洗浄 30 分)	稼働：24 時間/日 脱水：22 時間/日，機器自動洗浄：2 時間/日 (1 サイクル：脱水 110 分，洗浄 10 分)	稼働：24 時間/日 脱水：23 時間/日，機器自動洗浄：1 時間/日 (1 サイクル：脱水 115 分，洗浄 5 分)

2　生活環境影響調査の概要

(1) 調査方法

し尿処理施設から発生する騒音，振動，悪臭の測定調査を実施し，調査結果に基づいて処理量の増加に伴う騒音，振動，悪臭の周辺地域に及ぼす影響を予測する。

(2) 調査結果

施設の構造及び設置機器の種類・数量は現状のままで，機器の稼働時間の延長により対応可能であることから，処理量が増加しても，施設から発生する騒音，振動，悪臭についての影響は，現況と比べて変化はありません。

3　今後の処理量予測

平成 28 年度（見込み）を基に，今後の処理量の予測を行いました。

し尿と浄化槽汚泥を合わせた全体の処理量は，人口減少などにより、平成 30 年度をピークに緩やかに減少していくものと見込んでいます。

［浄化槽汚泥］

浄化槽汚泥については，29～30 年度にかけて，住宅等の増加や応急仮設住宅の解体撤去に伴い一時的に浄化槽汚泥の増加が見込まれますが，31 年度は，応急仮設住宅の解体撤去がほぼ終了することで，浄化槽汚泥量が一旦減少し，その後の処理量は，震災前の微増傾向に戻るものと見込んでいます。

［し　　尿］

し尿については，水洗化への移行や人口の減少などにより，処理量は減少傾向となるものと見込んでいます。

年　度	合計 (kℓ/日)	内　訳			
		し尿		浄化槽汚泥	
		1 日当たり (kℓ/日)	処理対象人口 (人)	1 日当たり (kℓ/日)	処理対象人口 (人)
平成 28 年度(見込み)	112.0	66.0	31,884	46.0	30,263
平成 29 年度(予測)	117.0	66.0	31,884	51.0	33,552
平成 30 年度(予測)	120.8	64.8	31,304	56.0	36,842
平成 31 年度(予測)	115.4	62.6	30,241	52.8	34,736
平成 32 年度(予測)	114.8	61.4	29,661	53.4	35,131
平成 33 年度(予測)	114.1	60.3	29,130	53.8	35,394